

報道発表資料の配付日時 12月25日(水) 15時30分

発表項目	まちづくりセミナーの開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○「北の住まいるタウン」の実現に向け、道内外の実践事例を担当者からご紹介いただき、意見交換を行うことにより、今後のまちづくりの参考とすることを目的に、「まちづくりセミナー」を開催します。</p> <p>1 開催日時 令和2年1月22日(水) 13:30~16:30</p> <p>2 開催場所 北海道立自治労会館 3階 中ホール (札幌市北区北6条西7丁目5-3)</p> <p>3 参加者 市町村職員などのまちづくり実務担当者50名程度</p> <p>4 実施内容 「北の住まいるタウンのモデル市町村の取組」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道当別町~公共施設再編による市街地再生と地域商社による道の駅の運営</li> <li>・北海道鹿追町~バイオガスプラントの取組と、しかおい100人ひらめき会議から生まれた町民プロジェクト</li> </ul> <p>「立地適正化計画等の活用による持続可能なまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟県見附市~「スマートウエルネスみつけ」の実現~都市部と村部が持続する歩いて暮らせる健幸都市~</li> <li>・兵庫県西脇市~西脇流コンパクトシティを目指して~2拠点の形成とつながるまち~</li> </ul> <p>事例紹介のテーマごとに意見交換を実施</p>		
参考	道では、誰もが安心して心豊かに住み続けられるまち・地域を目指し、「コンパクトなまちづくり」「低炭素化・資源循環」「生活を支える」取組を一体的に展開する「北の住まいるタウン」を推進しております。		

報道(取材)に当たって			
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	建設部まちづくり局都市計画課 新幹線・都市政策グループ(担当者:江端) TEL 011-231-4111(内線29-804) 直通 011-204-5284		
-------------	---	--	--

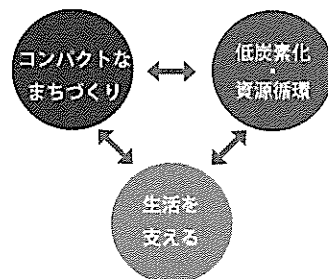


# まちづくりセミナー 2020

～道内外の4事例に学ぶまちづくりの進め方～

北海道の地域資源を最大限に活用し「コンパクトなまちづくり」「低炭素化・資源循環」「生活を支える」取組を一体的に進めるまち・地域づくり「北の住まいるタウン」。この取組を進めるためのヒントとなり、道内の様々な地域でも課題とされるテーマについて、道内外の先進事例に学ぶまちづくりセミナーを開催します！

講師には、現場でご活躍されている皆様をお招きします。地域のまちづくりに関心のあるみなさん、一緒にこれからのまちづくりの進め方を考えましょう！



日時

2020年 1月 22日 水 13:30 ▶ 16:30 50名

定員

参加費  
無料

会場

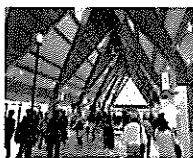
北海道自治労会館 3階 中ホール (札幌市北区北6条西7丁目5-3)

## テーマとご紹介いただく事例

### テーマ 1 北の住まいるタウンのモデル市町村の取組

**当別町** 公共施設再編による市街地再生と  
地域商社による道の駅の運営

講師：当別町企画部まち再生室 室長 乗木 裕氏



現在策定中の立地適正化計画と学生や様々な人が集える場づくり、賑わい創出の取組を紹介。また、平成29年にオープンした道の駅における、地域商社による運営、特産品開発、農商工連携による取組を紹介。

**鹿追町** バイオガスプラントの取組と、しかおい100人  
ひらめき会議から生まれた町民プロジェクト

講師：鹿追町建設水道課 課長 大上 朋亮氏



バイオガスプラントで厄介ものをエネルギーに変え、余剰熱利用で新産業や雇用の創出につながる取組を紹介。また、町民会議から始まったプレーパークの検討、特産品のレシピ開発など様々なプロジェクトを紹介。

### テーマ 2 立地適正化計画等の活用による持続可能なまちづくり

**新潟県見附市** 「スマートウェルネスみつけ」の実現  
～都市部と村部が持続する歩いて暮らせる健幸都市～

講師：見附市建設課 副主幹兼都市計画係長 武石 明彦氏



都市機能の集約をはかる区域で公共施設の再編、コミュニティバスによる回遊性の向上、「歩こう条例」やウォーキングロード等の歩ける環境の整備の取組を紹介。内閣府SDGs未来都市。2017年国交省第1回コンパクトシティ大賞。

**兵庫県西脇市** 西脇流コンパクトシティを目指して  
～2拠点の形成とつながるまち～

講師：西脇市建設水道部都市計画課 主査 松原 正佳氏



人口減少が進む中心市街地と新興住宅エリアを核とした2つの都市機能誘導区域と、それを囲む居住誘導区域を設定。人口減を見据えた施策や産業と連携した取組を紹介。2019年国交省第1回コンパクトなまちづくり大賞。

裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、お申し込みください。

# プログラム

時間		内容	
13:00～		開場	
13:30～13:40	10分	開会挨拶	北の住まいるタウンについて
13:40～14:10	30分	事例紹介①	公共施設再編による市街地再生と地域商社による道の駅の運営
14:10～14:40	30分	事例紹介②	バイオガスプラントの取組と、しかおい100人ひらめき会議から生まれた町民プロジェクト
14:40～14:55	15分	意見交換	テーマ1について参加者と講師の意見交換
14:55～15:05	10分	休憩	
15:05～15:35	30分	事例紹介③	「スマートウェルネスみつけ」の実現 ～都市部と村部が持続する歩いて暮らせる健幸都市～
15:35～16:05	30分	事例紹介④	西脇流コンパクトシティを目指して ～2拠点の形成とつながるまち～
16:05～16:20	15分	意見交換	テーマ2について参加者と講師の意見交換
16:20～16:30	10分	振り返り	
16:30		終了	

テーマ **①** 北の住まいるタウンのモデル市町村の取組

テーマ **②** 立地適正化計画等の活用による持続可能なまちづくり

## 北の住まいるタウン まちづくりセミナー 参加申込書

申込締切

2020年1月15日(水)

- 参加ご希望の方は、下記に記載のうえFAX、または電話・Eメールのいずれかでお申し込みください。
- Eメールで申し込まれる場合は、下記の内容をメール本文に記載のうえ、お申し込みください。
- 定員50名、先着順

氏名		電話番号	
所属・役職など		メールアドレス	

ご記入いただいた個人情報は、本事業の運営管理の目的のみに使用させていただきます。

主催：北海道 建設部 まちづくり局 都市計画課 (電話011-204-5284 担当：尾崎)

お申込・お問い合わせ先：(株)石塚計画デザイン事務所 (担当：蔵田・後藤)

FAX 011-251-7574

電話 011-251-7573 (平日9:30～18:00)

E-mail [koza@community-design.jp](mailto:koza@community-design.jp)

「北の住まいるタウン」ホームページ [http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/tki/kitasuma\\_top.htm](http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/tki/kitasuma_top.htm)



facebookページもご覧ください。

「北の住まいるタウン」